



医療法人和会  
介護老人保健施設 **日高の里**

スマートインパンツタイプをお使いいただいている、埼玉県日高市の「介護老人保健施設 日高の里」様にインタビューさせていただきました。こちらの施設では、いつまでも健康で明るい生活が送れ、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して過ごせるよう「心と心のふれあい」に努めておられます。(ホームページより抜粋)今回は、介護士の鈴木様、島崎様にインタビューしました。



MCS課係長 鈴木氏



MCS課 島崎氏



## 導入までの経緯を教えてください

島崎 以前からリフレの商品を利用しており、今まで日中はパンツタイプ、夜間にテープ止めタイプを使用していました。



夜間のテープ止めタイプはカバーの役割で使用しており、ほとんど汚れないまま廃棄していました。在宅復帰のことも考慮して、パッドでしっかり吸収できれば、終日パンツタイプにできるのではないかと考え、リフレサポーターさんに相談をしました。そこで大型パッドと使えるパンツタイプがあると、スマートインを紹介いただき、パッドも含めた商品の見直しを行いました。

## いつもリフレをお使いいただき、ありがとうございます。初めてスマートインを手にとった時の印象と、実際に使用された感想はいかがですか？

鈴木 今まで使っていたものに比べて、うすさとコンパクトさが一番印象的でした。ギャザーがたくさんあるので、手を入れた時の伸びや肌触りの良さにも驚きました！現場からは、しっかり伸びてフィットするので、はかせやすくモレも減って安心だという声がありました。パッドも含めて、交換回数の見直しやコスト削減に繋がったのは嬉しいですね。

島崎 伸縮性があるので、少ないサイズ展開でも幅広い体型の方をカバーできていると感じます。特に、お腹まわりや足まわりがキツくなりすぎないので、ウエストギャザーを切ってほしいという方の訴えがなくなりました。

## モレの軽減やコスト削減、装着時の快適性に繋がっており、嬉しく思います。現在、スマートインはどのような方に使用されていますか？

鈴木 トイレ誘導を進めているので、今まで夜間はテープ止めタイプだった方でも、日中から夜間まで終日スマートインを使用しています。ただ夜間にトイレ誘導が難しい方は、テープ止めタイプを使用する場合があります。パッドはご利用者一人ひとりの尿量や排尿のタイミングにあわせて、種類や交換回数を設定しています。

島崎 トイレ誘導時、立位の維持が難しい方には今まで職員が2人介助に入っていたのですが、スマートインはスルッと上げ下げできるので1人介助も可能になりました。

## スムーズな着脱により、業務の効率化に繋がっているのですね。

うすさについて、ご利用者様にはどのような効果がありましたか？

鈴木 うすくてフィット感があり、ゴワゴワ

ワせずに下着感覚で使えるので、おしゃれも楽しめると思います！

島崎 ぴったりしたズボンでもおしりがもたつくことなく、すっきりしていて動きやすいように感じました。



## おむつを履いても、おしゃれは楽しんでいただきたいですね。新しいおむつを取り入れるにあたって、あて方の周知などで工夫された点がありますか？

島崎 17時から17時半は職員の研修のために時間を取っており、オンラインも活用しながらリフレサポーターさんにあて方の勉強会を開催していただきました。

鈴木 あて方の実技については、人形を使いながら、何度も練習を重ねました。不安のある職員には、個別で指導しながら周知していきました。

いつも勉強会をご活用いただき、ありがとうございます。

## 在宅復帰に向けてどのような取り組みをされていますか？

鈴木 ご自宅に戻られた後のご家族様の介護のしやすさを意識しながら取り組んでいます。終日パンツタイプでお過ごしいただけるスマートインの採用を決めたのもそのひとつです。日中は基本的にトイレ誘導を行い、夜間の尿意に対してトイレ誘導が難しい方は、ご家族様と相談しながらパッドの種類や交換タイミングなどを検討しています。



島崎 夜間、どうしてもテープ止めタイプが必要な方でも安心してご自宅に戻られ

るように、ご家族様に対してパッドやテープ止めタイプの使用方法をお伝えすることもあります。

## ご家族様が安心してご本人様を迎えられ、より良い在宅介護の環境が整えられる素晴らしい取り組みですね。

## より良いケアの実現に向けて意識されていることはありますか？

鈴木 多職種間のスムーズな連携や良好な関係性は、ケアの質向上に繋がっていると感じます。さらに、チャット機能の活用により職員同士の情報共有と周知がスムーズになりましたね。



島崎 職員同士の距離も近く、他の職種であっても日々の業務の中で相談できる関係

性が構築できています。ケア内容の変更もすぐ実践に移せるので、より良いケアに繋がっているのだと思います。また、職員が楽しく働ける環境づくりも大切にしており、意識向上に繋がっていると感じます。

## 多職種間での良好な協力関係を築いておられるのですね。楽しく働けるような職場の環境づくりも素敵です。



この度は、お話を聞かせていただき、本当にありがとうございました。

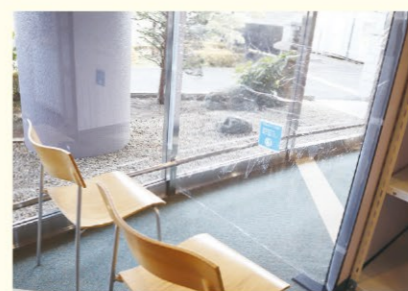
## 新型コロナウイルス感染予防対策の取り組み

### 01 検温とアルコール消毒の実施



■ ご本人様と職員、入館者の皆さまには必ず検温とアルコール消毒を行っています。入館者情報の記録を残しておくことで、接触機会などがスムーズに把握できます。

### 02 面会時の対策



■ 面会は完全に禁止するのではなく、事前予約制で1家族様につき2名までの制限付きとし、仕切りを隔ててではありますが10分間面会できる方法を取っています。年末年始はお孫さんにもお越しいただき、お顔を見ることができて大変喜ばれました。

### 03 衣類の受け渡し



■ 施設玄関に設置した棚で衣類の受け渡しを行うなど、接触機会軽減に取り組んでいます。衣類の受け渡しや洗濯、面会対応などで業務が増えたこともありましたが、排泄ケアの効率化に取り組んでいたことで無理なく実現できました！

今後も感染予防対策の徹底で、安全・安心な環境をご提供し、ウィズコロナで頑張っていきたいと思っております。